



本 店

プロフィール

設 立	昭和 63 年 4 月 1 日 (合併)
本店所在地	安中市原市 668-6
出 資 金	12 億 6 千万円
代 表 者	理事長 五十嵐 公
預 金 残 高	2,237 億円
貸出金残高	803 億円
役 職 員 数	163 名
店 舗 数	22 店舗
(令和 8 年 3 月 31 日現在)	



営 業 地 区

富岡市、安中市、高崎市、
藤岡市、前橋市、甘楽郡、
多野郡、佐波郡玉村町

※前橋市は旧大胡町、富士見村、
宮城村、粕川村を除く地区



当組合のシンボルマークは、群馬県信用組合のイニシャル“G”が上昇していく形です。

これは地域社会と当組合がともに発展し、成長していく姿を表しており、“G”が形づくる円形とその動きは、それを実現していくために、当組合が柔軟かつ、きめ細かに地域を応援させていただく姿勢を示しております。

目 次

● はじめに

プロフィール	1
ごあいさつ	2
経営理念・長期経営計画・中期経営計画	3
群馬県信用組合 SDGs 宣言	4
事業の概況	5
決算概況	6

● 地域を応援する取り組み

中小企業の経営の改善および 地域の活性化のための取り組み状況	7
金融サービスを通じた取り組み	14

● コンプライアンス等への取り組み

コンプライアンス態勢	16
リスク管理への取り組み	19

● 各種サービスのご案内

業務のご案内	21
各種手数料のご案内	24

● ガバナンスの充実状況

群馬県信用組合の概要	26
組合員と総代会制度	27
店舗のご案内	29

● 資料編

法定監査の状況	31
財務諸表	32
営業の状況	37
リスク管理債権と金融再生法に基づく開示債権の状況	43
自己資本の充実の状況	44
連結決算の状況	55
連結における自己資本の充実の状況	57

ごあいさつ



皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
 平素は群馬県信用組合をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
 当組合では、「創造と貢献」を経営理念に、地域の皆さまとのふれあいを大切にし、地域社会の活性化や地域の皆さまの豊かな暮らしづくりに貢献すべく業務に取り組んでおります。
 本年も「けんしんようの現況2026」を作成し、当組合の経営方針や業績内容等についてご報告いたしますので、是非ご高覧いただければ幸いに存じます。

令和7年度の国内経済につきましては、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費や設備投資が緩やかな回復基調で推移した一方、物価上昇や人手不足、国際情勢の影響などにより、先行きは依然として不透明な状況が続きました。群馬県内においても、設備投資や観光需要などで一部持ち直しの動きがみられたものの、中小企業では原材料・エネルギー価格や人件費の上昇に対する価格転嫁が十分に進まず、依然として厳しい経営環境が続きました。

金融情勢においては、日本銀行による段階的な政策金利の引き上げにより、長年続いた超低金利環境から「金利のある世界」へ移行し、金融機関を取り巻く経営環境は大きな転換期を迎えました。

このような中、当組合は中小企業・小規模事業者の皆さまへの円滑な資金供給や、販路拡大・事業承継・経営改善といった本業支援や地域行事へ参加による地域の皆さまとの交流など、地域経済の活性化に向けた取組みを実施してまいりました。

また、経営環境の変化や営業戦略の見直しに対応するため、令和7年度から新たな持続可能なビジネスモデルとなる新体制（本部・営業店）を構築し「安定した収益確保」をテーマに掲げ全職員一丸となってさまざまな施策に取り組みました。

令和8年4月からは、3年間にわたる「中期経営計画」が始まりました。地域と共に持続的に成長し続ける信用組合に向けて、次の取組みを骨子として事業を行ってまいります。

1. 継続的に安定した収益を確保する
2. コンプライアンス体制の強化
3. 統合的リスク管理の定着

これらの取組みを着実に実践していくことで、経営ビジョン『お客さまのご要望に素早く適確にお応えするため、誠意と熱意とフットワークで行動する金融機関になっている』を達成できるよう、役職員一同全力で邁進してまいります。

皆さま方におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月
 理事長 五十嵐 公

はじめに

地域を応援する
取り組みコンプライアンス等
への取り組み各種サービスの
ご案内ガバナンスの
充実状況

資料編